

サンパウロ大学への協定派遣（交換留学）月例報告書（8月分）

ブラジルでの生活が始まってから1ヶ月が経ちました。到着してからしばらくはバタバタな毎日でしたが、やっと落ち着いた頃です。約半年間、留学の様子を詳しく報告していきます！

【出発準備】

留学が決まり、まずは航空券について調べ始めました。遅くなってしまうと値段がどんどん上がっていくので、なるべく早く購入することをおすすめします。また、当時はまだサンパウロ大学での授業が始まる日程が分かりませんでした。8月1日には居た方が良さそうと考え、前期のテスト期間との兼ね合いもあったので、日本時間の7月29日夜に出発し、ブラジル時間の7月30日の夕方にサンパウロ到着の便にしました。後から留学生向けの説明会が7月29日にあることが分かり、参加できませんでしたが、他の留学生も意外と参加できなかつた人が多かったです。メールで送られてくるガイドブックや説明会のスライドがあり、困ったらいつでも留学担当の方に質問しに行くこともできるので、そこまで不安になる必要ないと思いました。

私は日系ブラジル人であり、パスポートも国籍もブラジルです。ビザ申請をする必要が無かったので、日本人留学生に比べたら、手続きは楽でした。入学申請の際に困ったのは、ブラジル国籍の留学生は、ブラジルパスポートを本人確認書類として使えないことです。代わりにRGというものが必要ですが、これは現地でしか発行できず、ブラジルに一度も行ったことのなかつた私はそれを持っていませんでした。しかし、留学担当の先生のおかげで、メールでのやり取りを通して、なんとか認めてもらいました。また、日本でしといた方が良いと思ったことは、CPF（納税者番号）の発行です。使う機会が多く、ブラジルについてからも発行できますが、色々と面倒になってしまふと思います。

【生活】

ブラジルに親戚がいるので、その一人とサンパウロ大学の近くに一緒に物件を借りて、住むことになりました。部屋選びや契約など、ほとんど頼らせてもらえたので、感謝しかありません。私の場合は安心でしたが、そうでない人で、ポルトガル語もあまり話せないとなると、一人で全部やるのはなかなか難しいです。情報収集を入念に行い、可能であればブラジル人の友達の親戚や知り合いなど、一人でも頼れる人は作った方がいいのではないかと思いました。

治安については、やはり良いとは言えません。私が住んでいる周辺はまだマシですが、油断は禁物だと思いました。ホームレスや物乞いがざらにいたり、スラム街があつたり、

日本ではありえない光景をたくさん見ることができます。ですが、おびえて生活をしても仕方がないので、防犯対策を行い、今のところはまだ被害に遭っていません。特に夜は公共交通機関でも危ない時があるので、最終手段としては Uber (安いタクシーみたいなもの) を使えば安心です。しっかりすればなんとかなります！

【大学】

8月1日から授業が始まりました。留学生は、履修登録をするまでの最初の二週間は、様々な授業を見学することができます。見学と言っても、初回から本格的に授業をする先生もおり、2週目から課題がある授業もたくさんある印象でした。そして授業はほとんどポルトガル語で行われ、留学生であることを伝えれば、評価方法や採点基準など配慮していただけますが、講義中は容赦なくポルトガル語です。家族でポルトガル語を話す私でも、難しい単語を調べながら受ける授業もあります。文芸大の留学担当の先生方が、言語の勉強をするように強く言っていた理由を痛感しました。ですが、興味深い授業がたくさんあり、優秀な学生に囲まれながら学べる、最高な環境です。他の日本人留学生や日本語を学ぶブラジル人学生とも交流する機会があり、日々刺激を受けています。



書きたいことがまだまだたくさんありますが、次回にとておきます！

